

グローバル BCP 研究会 2011 年度 第二回会合 (議事録)

1. 会合概要

- (1) 開催日時：2011 年 6 月 28 日(火) 16:00~17:30
- (2) 場所 所在地：東京都中央区日本橋本町 4 丁目 3-4 東海日本橋ビル
会場名：BCAO 東京オペレーション事務所会議室
- (3) 今回の議長役：原田座長
- (4) 議事録作成者：金子留美
- (5) 出席者：以下 X チェックの 6 名 (会員 11 名)、欠席者：以下 5 名

メンバー(X=出席)		メンバー(X=出席)		オブザーバー など	
1.座長 原田泉	<input checked="" type="checkbox"/>	11.金子留美	<input checked="" type="checkbox"/>	理事長 丸谷様	<input type="checkbox"/>
2.副座長金井 正弘	<input checked="" type="checkbox"/>	12.	<input type="checkbox"/>	事務局長 細坪様	<input type="checkbox"/>
3.上田 悦久	<input checked="" type="checkbox"/>	13.	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
4. 白澤健志	<input type="checkbox"/>	14.	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
5.小山 和博	<input type="checkbox"/>	15.	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
6. 佐々木 忍	<input type="checkbox"/>	16.	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
7. 菅谷 豊	<input type="checkbox"/>	17.	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
8. 廣本 英隆	<input type="checkbox"/>	18.	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
9. 新藤 康	<input checked="" type="checkbox"/>	19.	<input type="checkbox"/>	出欠 ON/OFF は右クリック、プロパティ の既定値の設定で	
10.能任 裕行	<input type="checkbox"/>	20.	<input type="checkbox"/>		

(6) 次回開催予定

第三回 2011 年 7 月 25 日(火) 16:00~17:30 国際社会経済研究所 大会議室
第二回会合終了後追記

(7) 当日配布資料

特になし

(8) 配布資料

2011 年度日中危機管理交流セミナー参加のご案内

2. 議事内容

(1) 外部講師招聘のテーマについて

- ・テーマに関する要望は以下の通り。
 - ✓ 特に外資系というこだわりはないが、日本国内以外のオフィスにおいて、日本オフィスを支援するためにどのような動きがあったのか。(廣本さん：メール)
 - ✓ 地震以外のリスクの考慮 (原発は想定内であったか)、BCP 発動のトリガー/BCP 解除のトリガ

一、訓練について（頻度、方法、参加者など）、今回の震災対応でうまくいった点、改善が必要な点（菅谷さん：メール）

- ✓ 海外企業における日本支援の仕方の他、今年度の活動として昨年度から作成途中の「海外事業を行っている会員企業向け注意事項集」についても完成させる必要があるのでは。
- ✓ BCPのトリガー、帰宅難民支援をどのように実施しているのか。
- ✓ サプライチェーンをどのように考えているのか。
- ✓ 海外企業経営としての途上国のカントリーリスクをどのように考えているのか。
- ・ 上記の要望等を踏まえ、検討テーマとしては外資系企業における事例紹介をテーマとしたい。依頼先候補としては、佐々木さん、金井さん、小山さんにあたってはどうか。
- ・ 次回の研究会開催は、招聘講師の都合に合わせて実施日程を定めることとし、次々回は講演のテーマに合わせてディスカッションすることとしたい。
- ・ また、別途今年度の活動として「海外事業を行っている会員企業向け注意事項集」について完成させる。

(2) 2011年度日中危機管理交流セミナー外部講師招聘のテーマについて

- ・ セミナーの内容については別添資料の通り。なお、第一部の学術交流については、日本側は国士舘大学、中央大学等を想定している。

以上